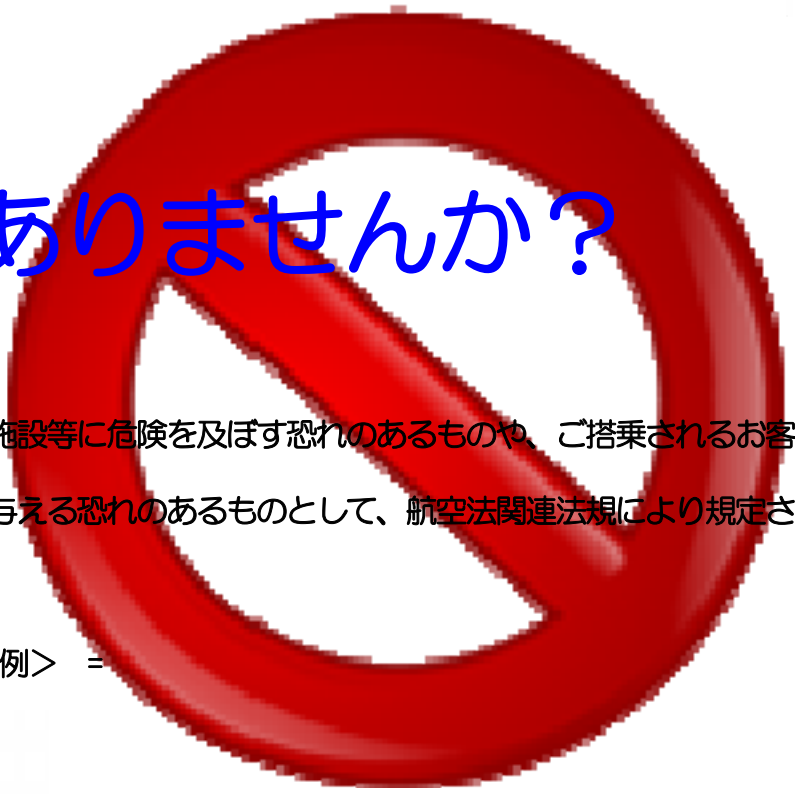


お客様の貨物に、

危険物はありませんか？



「危険物」って何だろう？

航空機の安全運航を脅かしたり、航空機・空港施設等に危険を及ぼす恐れのあるものや、ご搭乗されるお客様、乗務員、空港で働く社員などの健康に害を与える恐れのあるものとして、航空法関連法規により規定されたものを「危険物」といいます。

= 例えば、こんなものが「危険物」に <代表例> =

火薬類

EXPLOSIVES

花火
Fireworks
クラッカー
Crackers
弾薬
Ammunition



他に、火薬、照明弾、発煙筒、信管、点火コード、
エアバッグインフレーター等

引火性液体

FLAMMABLE LIQUIDS

オイルライター
Oil Lighter
ライター用燃料
Lighter Fuel
ペイント類
Paint



他に、化学製品、接着剤、アルコール、香水、ガソリン等

高圧ガス

GASES

ライター用補充ガス
Butane Lighter Fuel
ダイビング用ボンベ
Diving Tanks
キャンプ用ガス
Camping Gas
カセットコンロ用ガス
Butane Gas
スプレー缶
Spray



他に、消火器、酸素ボンベ、ガスライター、
ガスシリンダー等

可燃性物質

FLAMMABLE SUBSTANCES

マッチ
Matches
炭
Charcoal



毒物類

TOXIC SUBSTANCES

殺虫剤
Pesticides
農薬
Agricultural Chemicals



他に、水銀化合物、伝染性病原菌、バクテリア、ウイルス、
医療系廃棄物、診断用標本

放射性物質等

RADIOACTIVE MATERIAL



その他の有害物件

MISCELLANEOUS DANGEROUS SUBSTANCES AND ARTICLES

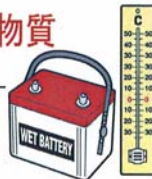


他に、ドライアイス、アスベスト、車、
人に不快感を与えるような麻酔性、有毒性をもった物質

腐食性物質

CORROSIVES

液体バッテリー
Wet Battery
水銀
Mercury



他に、塩酸等

電池類

batteries

リチウムイオン/金属電池
Lithium ion/metal cells and batteries
燃料電池
Fuel cell cartridges

「危険物」を航空貨物として輸送するには

航空機への積載が禁止されているものを除き、危険物は航空法関連法規に基づき、定められた量以下のものを定められた容器に収納するなどすれば航空輸送が可能です。その場合、お客様の責任において、法規で定められた包装要件に従い包装していただくとともに、内容物を詳しく記載した書類「危険物申告書」を提出していただく必要があります。

航空法関連法規に従った輸送が行われない場合、50万円以下の罰金の対象となります。

「危険物」かどうか分からない！「危険物」かもしれない！

と迷われたときには、ご利用の航空会社、航空貨物代理店までお問い合わせください。